

## 2022 年度事業報告

2022 年度は、世界的な新型コロナウイルス感染の落ち着きに伴い、海外において多くの大会が再開されるようになりました。日本代表チームの海外派遣では 6 月のアジアジュニアスカッシュ選手権大会個人戦の女子U17で緑川あかり選手が優勝、12 月には女子世界選手権団体戦にて過去最高位の 10 位という好成績を残し、同大会の 6 試合を全勝した渡邊聡美選手は世界スカッシュ連盟より大会 MVP を贈られるという快挙を成し遂げました。3 月には、スポーツ庁室伏長官に表敬訪問し、女子世界選手権の報告を行うことができました。国内におきましても全国スカッシュ大会の多くが再開され、5 つの協会主催大会を開催しました。そして 3 月には 3 年ぶりに大型商業施設のトレッサにおいて 4 面ガラスコートを設置しての全日本スカッシュ選手権大会が開催することができました。

協会の各事業は、日本のスカッシュ競技の統括団体として下記の事業を各委員会において展開しました。

- (1) スカッシュ競技の普及に関する事業
- (2) スカッシュ競技の競技力向上に関する事業
- (3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業
- (4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

### 協会主催大会

#### ○第 33 回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会

主催：公益社団法人日本スカッシュ協会

日程：2022年 6 月 25 日(土)-6 月 26 日(日)6月25日～26日

会場：Greetings Squash Saitama

参加人数：62名

選手権男子 (43 人)		
優勝	安成 翔太	東洋大学
準優勝	安藤 優太	日本大学
3 位	Ren Makino	Greetings
4 位	鈴木 拓道	日本大学
5 位	高橋 秀侑	Greetings
6 位	徳原 優輝	中央大学
7 位	小島 大輝	順天堂大学
8 位	伊藤 幹太	SQ-CUBE PRO
選手権女子 (19 人)		
優勝	平野 未悠	順天堂大学
準優勝	西尾 舞洋	ティップネス宮崎台
3 位	鈴木 音色	ティップネス宮崎台
4 位	橘 和花	Cools
5 位	三上 奈子	順天堂大学
6 位	佐伯 真緒	順天堂大学
7 位	中島 晶	ティップネス宮崎台
8 位	緑川 ひまり	Greetings
選手権男子プレート		

優勝	田中 優伍	明治大学
準優勝	井上 隼	学習院大学
選手権女子プレート		
優勝	土屋 早智子	順天堂大学
準優勝	関 智遥	日本体育大学

○2022JSA ジュニアチャレンジカップ in サマー

日程:2022年7月30日~31日

会場:Greetings Squash Saitama

参加人数:68名

カテゴリー	順位	氏名	所属名
BU9	優勝	伊藤 玄祿功	ティップネス宮崎台
	準優勝	蜂須賀 一真	Greetings
	3位	齊藤 遥喜	ティップネス宮崎台
GU9	優勝	吉野 莉央	Greetings
	準優勝	松本 滯	ティップネス宮崎台
	3位	安西 紗菜	Be-Win 有明
BU11	優勝	安井 陽俊	Greetings
	準優勝	馬場 律英	SQ-CUBE Jr.
	3位	森 寛人	ティップネス宮崎台
BU13	優勝	小野 陽大	SQ-CUBE Jr.
	準優勝	中村 成希	ティップネス宮崎台
	3位	安井 大朔	Greetings
GU13	優勝	シニア 英美里	SQ-CUBE Jr.
	準優勝	江木 綾音	Greetings
	3位	小嶋 柚希	Greetings
BU15	優勝	伊藤 亘汰朗	ティップネス宮崎台
	準優勝	森 悠人	SQ-CUBE Jr.
	3位	小野 晃延	SQ-CUBE Jr.
BU17	優勝	池田 到真	Greetings
	準優勝	三坂 英輝	SQM アカデミー
	3位	—	
GU17	優勝	橘 和花	Cools
	準優勝	中島 晶	ティップネス宮崎台
	3位	緑川 ひまり	Greetings
BU19	優勝	Makino Ren	Greetings
	準優勝	土岐 幸誠	Greetings
	3位	高橋 秀侑	Greetings
GU19	優勝	西尾 舞洋	ティップネス宮崎台

準優勝	坂田 日葵	SQM アカデミー
3位	工藤 千幸	洗足学園

○第 28 回マスタースカーニバル

日程:10月8日・9日

会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数:136名(ダブルエントリー含む延べ人数)

	1位	2位	3位	
Over 30 男子	Richard Johns SQ-CUBE 横浜	小林 雄大 スプラッシュ		
Over 40 男子	藤井 一憲 ルネサンス東久留 米	東野 至圭夫 Fujiyama		
Over 50 男子	森 亨行 関東支部	ミラー トーマス 六丸水産	森 亨行 P-S FUL	須賀 豊 BE-WIN 有明
Over 60 男子	大野 順彦 コナミ西宮	坂本 昌夫 ティップネス宮崎台	田中 裕之 セントラルスポーツ	
Over 70 男子	坂本 聖二 OEC	丸山 昭文 セントラル広島	石田 茂雄 ティップネス宮崎台	
Over 30・40 女子	足立 美由紀 ポスト	吉岡 千賀 JIN		
Over 50・60・ 70 女子	和田 篤子 ルネサンス海老名	二又 かほる Family Wall 福 岡	島田 千亜紀 セントラルスポーツ	元木 泉 森山生涯 SC
無差別	渡邊 祥広 SQ-CUBE PRO	松澤 彩香 Squash-Life	鷺津 彰 関東支部	
トリオマッチ	小川 哲明 スカッシュマジック	湯浅 創 ルネサンス天王町	長野 宏 司 ルネサン ス海老 名	梅澤 和 J
	植松 大介 関東支部	須賀 豊 BE-WIN 有明	和田 清 香 ルネサン ス海老 名	上野 光 代 セントラ ルスポ ーツ

	杉本 梨沙 ダイナム	二又 かほる Family Wall 福 岡	和田 篤 子 ルネサン ス海老 名	高島 和 彦 セントラ ルスポ ーツ
--	---------------	------------------------------	-------------------------------	--------------------------------

○文部科学大臣杯争奪第 51 回全日本スカッシュ選手権大会

<令和 4 年度日本スポーツ振興基金助成事業>

主催: 公益社団法人 日本スカッシュ協会

日程: 2023 年 3 月 16 日-3 月 19 日

会場: ヨコハマスカッシュスタジアム

SQ-CUBE&トレッサ横浜

選手権男子 (63 人)		
優勝	机 龍之介	ダイナム
準優勝	遠藤 共峻	Greetings
3 位	林 尚輝	Greetings
3 位	安成 翔太	東洋大学
ベスト 8	曾根 直樹	慶応義塾大学
ベスト 8	安藤 優太	日本大学
ベスト 8	池田 悠真	Greetings
ベスト 8	村山 知嶺	Cools
ベスト 16	清沢 裕太	スカッシュマジック
ベスト 16	岡田 賢	StandOut KYOTO
ベスト 16	Makino Ren	Greetings
ベスト 16	高橋 秀侑	Greetings
ベスト 16	徳原 優輝	中央大学
ベスト 16	寺井 達哉	セントラル広島
ベスト 16	高坂 任	イカトン SQ
ベスト 16	鈴木 拓道	日本大学
選手権女子 (54 人)		
優勝	渡邊 聡美	Greetings
準優勝	杉本 梨沙	ダイナム
3 位	緑川 あかり	Greetings
3 位	松井 千夏	THE SQUASH
ベスト 8	松澤 彩香	SQ-CUBE PRO
ベスト 8	高橋 くるみ	Greetings

ベスト8	西尾 舞洋	ティップネス宮崎台
ベスト8	佐野 Herring Brooke 愛利紗	フリー
マスタース男子 o35 (4人)		
優勝	宮尾 昌明	セントラルスポーツ
マスタース男子 o45 (7人)		
優勝	青山 猛	関東支部
準優勝	鈴木 重慶	A-1
マスタース男子 o55 (13人)		
優勝	石塚 浩士	OEC
準優勝	大野 順彦	コナミ西宮
3位	安藤 実	セントラルスポーツ
3位	高柳 裕哉	コナミ西宮
マスタース男子 o65 (10人)		
優勝	浅井 俊哉	OEC
準優勝	青木 利明	セントラルスポーツ
3位	森川 文夫	T.I.M.
3位	坂本 聖二	OEC
マスタース女子 o3545 (4人)		
優勝	道下 和子	宮崎バディ
マスタース女子 o5565 (7人)		
優勝	深見 友紀恵	T-BOX
準優勝	浅野 裕子	コナミ西宮

○第27回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会

日程:令和5年3月25日~27日

会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数:114名

Under19 男子(参加者 11名)			Under19 女子(参加者 11名)		
優勝	池田 悠真	Greetings	優勝	緑川 あかり	Greetings
準優勝	伊藤 幹太	SQ-CUBE PRO	準優勝	佐野 Herring Kathryn	中部支部
3位	横田 夢月	ティップネス宮崎台	3位	坂田 日葵	SQMアカデミー
1回戦敗者優勝	田村 一磨	修道中高	1回戦敗者優勝	山崎 愛奈	洗足学園
2回戦敗者優勝	三坂 英輝	SQMアカデミー	2回戦敗者優勝	鈴木 音色	ティップネス宮崎台
Under17 男子(参加者 8名)			Under17 女子(参加者 12名)		
優勝	Makino Ren	Greetings	優勝	西尾 舞洋	ティップネス宮崎台
準優勝	松尾 樹里杏	ポースト	準優勝	中島 晶	ティップネス宮崎台
3位	平井 康博	SQ-CUBE Jr.	3位	桑原 杏奈	ティップネス宮崎台

1回戦敗者 優勝	津島 義親	修道中高	1回戦敗 者優勝	渡辺 れいか	SQMアカデ ミー
2回戦敗者 優勝			2回戦敗 者優勝	荒瀬 優唯	広島工大高
Under15 男子(参加者 12 名)			Under15 女子(参加者 5 名)		
優勝	高橋 秀侑	Greetings	優勝	橘 和花	Cools
準優勝	池田 到真	Greetings	準優勝	緑川 ひまり	Greetings
3 位	森 悠人	SQ-CUBE Jr.	3 位	杉本 りお	Be-Win 有 明
1回戦敗者 優勝	池田 耕淳	セントラルスポ ーツ	1回戦敗 者優勝	池内 冴月	洗足学園
2回戦敗者 優勝	小野 晃延	SQ-CUBE Jr.	2回戦敗 者優勝		
Under13 男子(参加者 19 名)			Under13 女子(参加者 7 名)		
優勝	小野 陽大	SQ-CUBE Jr.	優勝	シニア 英美里	SQ-CUBE 横浜
準優勝	中村 成希	ティップネス宮 崎台	準優勝	西内 望	Greetings
3 位	足田 拓海	セントラル広島	3 位	上家 桜	Ash
1回戦敗者 優勝	石原 潤弥	ティップネス宮 崎台	1 回戦敗 者優勝	高附 夏望	Ash
2回戦敗者 優勝	安井 大朔	Greetings	2回戦敗 者優勝		
3回戦敗者 優勝	遊佐アレクサ ンダー	Greetings	3回戦敗 者優勝		
Under11 男子(参加者 13 名)			Under11 女子(参加者 6 名)		
優勝	馬場 律英	SQ-CUBE Jr.	優勝	吉野 莉央	Greetings
準優勝	小野 凜介	SQ-CUBE Jr.	準優勝	小嶋 柚希	Greetings
3 位	安井 陽俊	セントラル広島	3 位	松本 滯	ティップネス 宮崎台
1回戦敗者 優勝	杉谷 悠馬	Blueprint 福 岡天神	1回戦敗 者優勝	西内 晴果	Greetings
2回戦敗者 優勝	森 寛人	SQ-CUBE Jr.	2回戦敗 者優勝		
Under9 男子(参加者 7 名)			Under9 女子(参加者 3 名)		
優勝	篠崎 瑛仁	Greetings	優勝	金井 理実	SQ-CUBE 横浜
準優勝	安西 壮	Be-Win 有明	準優勝	小嶋 杏希	Greetings
3 位	杉谷 柊	Blueprint 福 岡天神	3 位	大谷 怜海	Greetings
1回戦敗者 優勝	松本 一哲	SQ-CUBE 横 浜	1 回戦敗 者優勝		
2回戦敗者 優勝			2回戦敗 者優勝		

## 普及渉外委員会

- ① ワールドスカッシュデー・スカッシュウィークの実施  
主催：(公社)日本スカッシュ協会  
共催：世界スカッシュ連盟  
日程：<ワールドスカッシュデー>2022年10月15日  
内容：世界連盟と共に、世界中のスカッシュプレイヤーとスカッシュの魅力を共有。  
2022年度は体制強化のため未実施
  
- ② 大会等のスポンサー対策及び協賛の増進  
コロナ感染症の影響はあるものの、全日本等の含め協賛依頼を実施。  
2023年度に向けて「プレミアムパートナー」の内容を変更、「日本代表サポートプログラム」を含む「JSA パートナープログラム」を策定
  
- ③ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクト  
今年度より「環境対策部会」として新たなプロジェクトを設立され、大会会場での PR や、事務所内に JOC 環境ポスターの掲示を実施。
  
- ④ エアースカッシュを活用したスカッシュ PR 事業  
<2022 年度の開催>  
4/12 広島修道大学(実施済み 30 名)  
5/1.2 川崎アゼリア(中止)  
5/3 川崎大師(中止)  
11/3 飯田市「丘のまちフェスティバル」(中止)  
11/18.19 トレッサ横浜「全日本選手権大会」  
1/1.2.3. 帝国ホテル(中止)  
2/23 川崎市等々カアリーナ「中原スポーツまつり」(中止)  
その他「ワールドスカッシュデー、スカッシュウィークの補助金」  
関西支部「WMG に向けてのイベント」(中止)  
中部支部「2026 年名古屋アジア大会に向けてのイベント」(中止)
  
- ⑤ 日本スポーツ協会加盟に向けて  
川崎市スカッシュ協会が、2020 年 6 月に正式川崎市スポーツ協会への加盟が正式に承認され、市の大型施設内へのスカッシュコートの導入に向けて活動を開始する。  
また、スポーツ協会加盟のマニュアル作成を行い多くの地域でスポーツ協会の加盟を  
に向けて連携強化を行った。

## 広報委員会

- ① 広報機関誌「SQUASH」の発行 (年 2 回)  
<令和 4 年度年度日本スポーツ振興くじ助成事業>  
Vol. 91 号 (夏の号)2022 年 9 月 30 日発行

Vol. 92号 (冬の号)2023年3月30日発行  
・2023年度より紙から電子ブック形式にて配信予定

② 協会ホームページの運営と情報発信

協会ホームページにおいて、スカッシュの様々な情報を発信。  
SNSを使用したニュースや、メディア情報発信。

③ 選手強化活動(イベント、トレーニング)の写真、YouTube のコンテンツとして動画配信  
を行いスカッシュの普及に努めた。

選手強化委員会

■海外派遣及び国内合宿

<海外派遣>

-----シニア部門-----

○ワールドゲームス2022

開催国:アメリカ・バーミンガム

日程:2022年8月14日~17日

大会結果:渡邊聡美ベスト16・佐野 Herring 愛利紗ベスト32

選手(男子チーム):渡邊聡美・佐野 Herring 愛利紗

○アジアスカッシュ選手権(団体戦)

開催国:韓国・清州市

日程:2022年10月29日~11月5日

大会結果:男子7位・女子5位

スタッフ:佐野公彦・松本淳

選手(男子チーム):机龍之介・遠藤共峻・林尚輝・安成翔太

選手(女子チーム):渡邊聡美・緑川あかり・杉本梨沙・佐野 Herring 愛利紗

○女子世界選手権団体戦

開催国:エジプト・カイロ

日程:2022年12月7日~18日

大会結果:10位(過去最高順位)・渡邊聡美大会 MVP 受賞

スタッフ:松本淳

選手:渡邊聡美・緑川あかり・杉本梨沙・佐野 Herring 愛利紗

----ジュニア部門----

○アジアジュニア個人戦

開催国:タイ・パタヤ

日程:2022年6月13日~20日

大会結果(派遣選手):池田悠真 BU19 ベスト8・MakinoRenBU15 ベスト16・  
高橋くるみ GU19 ベスト16・緑川あかり GU17 優勝

スタッフ:佐野公彦・海道泰喜・遠藤共峻・宮内政人(遠藤・宮内は外部依頼)

派遣選手:池田悠真・MakinoRen・高橋くるみ・緑川あかり

ナショナル自費参加選手:池田到真・伊藤幹太・高橋秀侑・土岐幸誠



○世界ジュニア個人戦

開催国:フランス・ナンシー

日程:2022年8月11日~16日

大会結果:緑川あかりベスト64

スタッフ:海道泰喜

派遣選手:緑川あかり

※この遠征は遠征費用の一部を協会負担で行いました

○パナンジュニアオープン

開催国:マレーシア・パナン

日程:2022年10月9日~18日

大会結果(派遣選手):池田悠真 BU19 3位・MakinoRen BU17 6位・  
西尾舞洋 GU15 17位・緑川あかり GU19 6位

スタッフ:海道泰喜・郡司颯

派遣選手:池田悠真・MakinoRen・西尾舞洋・緑川あかり

ナショナル自費参加選手:池田到真・高橋秀侑・土岐幸誠・伊藤幹太

○アジアジュニア団体戦

開催国:インド・チェンナイ

日程:2023年2月6日~14日

大会結果:男子5位・女子3位

スタッフ:海道泰喜・西村佳子

選手(男子チーム):池田悠真・Makino Ren ・土岐幸誠・高橋秀侑

選手(女子チーム):緑川あかり・高橋くるみ・西尾舞洋・坂田日葵

<国内活動>

○2022ジュニアサマーキャンプ(ジュニアゲーム練習会を同時開催)

日程:2022年8月15日

会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

担当スタッフ:佐野公彦・西村佳子・小川哲明

参加:JSA 強化指定選手(2名)

JSA 強化指定候補選手(5名)

スカウト選手(7名)

ゲーム練習会(7名)

○2022ジュニアウインターキャンプ

日程:2022年12月29日

会場:Squash Magic Academy Squash&Golf

担当スタッフ:佐野公彦・西村佳子

参加:スカウト選手(6名)

一般選手(8名)

○2023ジュニアナショナル強化合宿

日程:2023年1月13日~14日

会場:Greetings Squash Saitama

担当スタッフ:佐野公彦・海道泰喜・西村佳子

参加:JSA 特別強化指定選手(2名)  
JSA 強化指定選手(3名)  
JSA 強化指定候補選手(4名)  
スパーリングパートナー選手(7名)

○2023ナショナル強化合宿  
日程:2023年3月29日~31日  
会場:サンセットブリーズ保田  
担当スタッフ:佐野公彦・松本淳・海道泰喜  
参加:JSA 特別強化指定選手(3名)  
JSA 強化指定選手(3名)  
JSA 強化指定候補選手(4名)

○ナショナルトレーニング  
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE  
日程:4月24日 参加7名  
5月29日 参加7名  
9月11日 参加2名  
11月27日 参加7名  
2月12日 参加5名

○「日本代表選手並びに役員選考規程」を見直し改訂し、理事会にて承認

○「強化指定選手選出基準」を見直し改訂し、常務理事会にて承認

## □コーチング部会

選手強化委員会の内部組織として再編成を行った  
同時に「コーチ委員会」から「コーチング部会」に名称変更  
レベルTの教材と指導内容を改訂  
レベル1の教材と指導内容を改訂

○JSA 公認普及トレーナー(レベルT)講習会  
日程:2022年5月22日  
会場:ルネサンススポーツクラブ港南台クラブ  
講師:佐野公彦  
受講者:6名

○JSA 公認レベル1コーチ認定講習会&試験  
日程:2022年10月21日~22日  
会場:StandOut KYOTO  
講師:佐野公彦  
受講者:3名

競技委員会

- ① 公認大会の認定、結果管理及びランキングの作成
- ② ランキング規定の見直し  
PSA 結果の反映についてのポイント換算を見直した。
- ③ 大会における感染症対策ガイドラインの見直し  
コロナ禍における感染対策を盛り込んだスカッシュの大会開催ガイドラインを管理、運用し必要に応じて改版した。各公認大会の感染防止ガイドラインを確認した。
- ④ 全日本選手権の出場資格策定  
全日本選手権開催を予定している全日本選手権、その他ジュニア大会、公認大会主催者と協会にて情報収集や検討と協議を重ねた。
- ⑤ 公認大会主催者との大会運営に関する情報共有

### レフリー委員会

委員会メンバーを再編成して活動を開始した。

- ① レフリー委員のオンラインミーティングを開催
- ② 審判講習会時の講習用ビデオと解説を新規作成・導入
- ③ 審判講習会実技試験時の問題ビデオと解答を新規作成・導入
- ④ 協会主催大会においてレフリー協力・派遣
- ⑤ ナショナルレフリーの任命

### 規則公認委員会

- ① 2022年9月 JOC ガバナンスコード審査会ヒアリングに対応し、2023年2月「適合」判定を得た。
- ② JOC ガバナンスコード審査会で指摘された処分に関連する3規程の整備および関連規程の一部改訂等を行った。  
具体的には以下の規程となる。
  - ・「処分手続規程」新規策定
  - ・「通報・相談窓口に関する規程」新規策定
  - ・「倫理・コンプライアンス委員会規程」既存規程を改訂
  - ・「運営規則」一部改訂
  - ・「アスリート委員会規程」一部改訂
  - ・「日本代表選手選考及び役員選考規程」一部改訂
- ③ コートの公認
  - ・2022年11月 スカッシュマジックアカデミーコート2面
- ④ JOC 主催ガバナンスコード研修に参加（2022年7月、9月、2023年1月の全3回）

### 総務委員会

#### ① 会員募集事業と管理

\*個人会員及び団体会費の募集、特にプレミアムパートナー会員の登録協力を依頼した。  
個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は(株)アップロードの「スポーツエントリー」を利用し、会員情報を支部、大会へ提供。

※2023年度より団体会員募集についてもスポーツエントリーの利用を行うこととなった。

- ② 団体会員等の登録費請求と納入確認。
- ③ JOC,JADA,等各加盟団体との連携。
  - ・スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査については、9/29 予備審査を受診、指摘事項改善を経て、2月適合の判定となった。
- ④ 会議の実施、専門委員会組織の新設統廃合と会議体の改編について検討した。
  - ・専門委員会組織新設統廃合により9委員会に変更となった。常務理事会と専門委員会委員長会議を執行体制会議体として同日開催の運用とした。
- ・各委員会を中心とした運営とその情報共有のため TEAMS の構造の設定活用を推進。
- ⑤ 財務担当活動
  - ・公認会計士及び協会監事による会計監査を行い、2021年度財務諸表を理事会及び総会に図り承認。
  - ・2022年度の経理入力および管理。
  - ・2023年度の予算案の策定及び理事会での承認。
  - ・各種助成金に関する調査、申請と報告業務。
- ⑥ 公益社団法人への定期報告
  - ・2021年度定期事業報告提出 ⇒ 6月
  - ・2023年度定期事業計画提出 ⇒ 3月
  - ・各種変更届⇒定款及び役員変更
- ⑦ 国際担当活動
  - ・世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、PSA(プロ協会)と情報連携。
  - ・世界スカッシュ連盟及びアジアスカッシュ連盟の総会出席及び報告。通達や、ルールの変更、大会スケジュール情報を収集し選手強化委員会に連携発信。
  - ・アジア競技大会に向けての国内外に向けたロビー活動。
    - 2026年愛知・名古屋開催のアジア競技大会への競技入りに向けての情報収集に努め、同時に開催地での会議に出席の中部支部との連携。

## ⑧ アスリート部会

- ・全日本選手権時期の移行に関して意見収集及び検討。
- ・地域貢献活動など
- ・国内で開催される(日本人選手のみ)のPSA大会のポイントのJSAランキングへの付与について。

## 地区支部委員会

- ・年度内8回の地区支部委員会を開催下記内容について協議、情報共有を行った
  - ① コロナ禍における大会開催に関する課題・解決策の共有
  - ② 各地区支部の活動状況の共有
    - ・大会、イベント等
  - ③ 地区支部の意見集約と常務理事会への提言・提案
    - ・常務理事会にて協議される事案に対する、地区支部の意見集約
    - ・地区支部意見を集約しの常務理事会への提言・提案の具申
  - ④ 会員登録状況の報告等

## 学連委員会

- ① 活動内容の全面的見直し(学生との対話から課題を抽出し両者で解決を目指す)
- ② 委員会委員の拡充(現在 3 名)
- ③ 学生側との意見交換と問い合わせ対応(2022 年夏～秋)
- ④ 定例会議開催(学生が代替わりする 2023 年 1 月から開始し毎月開催)

会議の目的を以下に規定

「学生連盟執行部と JSA が定期的に MTG を開催し、学生×JSA 間で解決できる課題の抽出・討議・決定・周知徹底をひとつのサイクルとし繰返していくことで良好な関係性を構築する。協議時は年齢や立場は関係なく、全員が対等な立場で自由な発言を行うことを前提とする。日本のスカッシュ人口の 1/3 という学生連盟を盛り上げ、学生スカッシュひいては日本のスカッシュ界の発展につなげていく。」

## ◆ワールドマスターズゲームズ関西 ⇒延期

- ・2022 年 5 月に京都にて開催予定だったワールドマスターズゲームズ関西は、コロナ禍の影響により延期となった。
- ・2027 年 5 月に開催決定。

## ◆ 創立 50 周年記念事業

- ・コロナの影響により第 50 回全日本スカッシュ選手権大会に於ける4面ガラスコートでの開催が実現出来なかったため、第 51 回全日本スカッシュ選手権大会にて実施。

## ◆ 愛知・名古屋アジア競技会

- ・2026 年に開催を予定されている愛知・名古屋アジア競技会組織委員会へ表敬訪問を行い、スカッシュ競技のプレゼンテーションを行い、スカッシュ競技の同大会での実施依頼を行った。

## 2022 年度会員数 & 公認数

### <個人会員>

()は前年

会員種別	人数
正会員	35 名(39 名)
プロ選手会員	41 名(33 名)
プレミアムパートナー 会員(個人)	10 名 (12 名)
個人選手会員	359 名(303 名)
ジュニア会員	167 名(137 名)
一般会員	152 名(70 名)
レフリー・コーチ会員	25 名(34 名)
個人後援会員	1 名(2 名)
学連会員	554 名(337 名)

### <団体会員>

()は前年

会員種別	団体数
プレミアムパート ナー会員(団体)	20 件 38 口 (13 件 19 口)
団体会員	85(97)
準団体会員	23(16)
クラブチーム会員	23(16)

個人会員 総合計 1,343 名(2022 年)

967 名(2021 年) 933 名(2020 年) 1,864 名(2019 年)

### <個人会員と一般会員の支部別内訳>()は前年

支部名	個人選手会員	一般会員
北海道	11(10)	3(0)
東北	13(14)	11(14)
関東	204(179)	80(24)
中部	19(16)	7(0)
関西	64(41)	30(9)
中国四国	22(23)	12(15)
九州	26(20)	9(8)

### <2021 年度公認件数>

コート公認数	1 件(2 件)
大会公認数(協会主催大会を除く)	46 大会(33 大会)
ボール公認数	1 件(1 件)
コーチ公認更新数	8 件(29 件)
レフリー公認更新数	21 件(11 件)

(2023.3.31.)